

登別市水道事業経営戦略

について

2018年4月20日、23日、24日



登別市都市整備部水道室

経営戦略策定の経緯

水道事業は、市民生活等のライフラインである。

登別市水道事業の課題

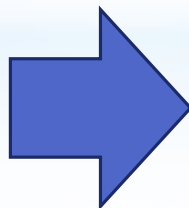
水需要の低迷に伴う給水収益の減少

水道施設の更新や耐震化が必要

水道事業を取り巻く経営環境は、益々厳しくなることが予想される。



安全で安心な水道水を安定的に供給するためには、中長期的な経営の基本計画の策定が必要

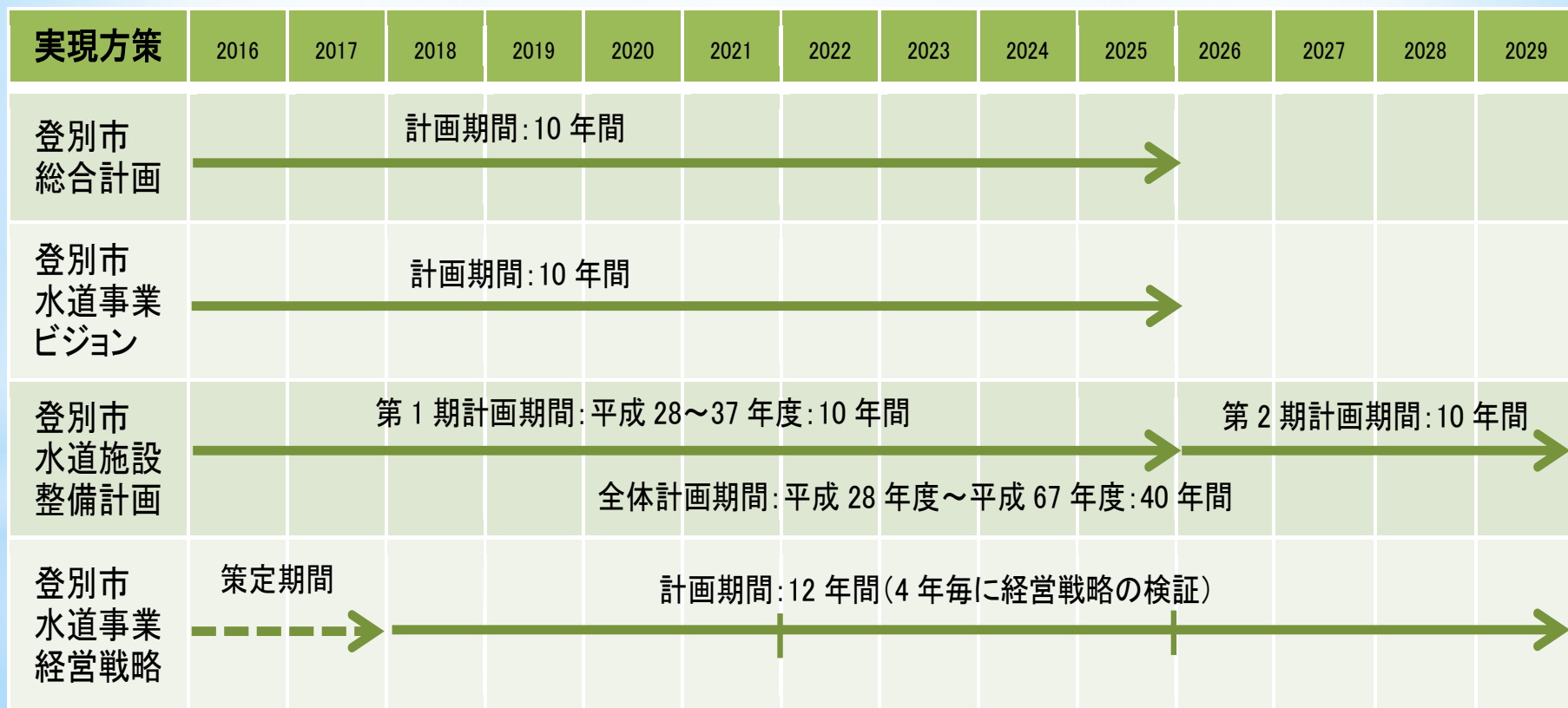


登別市水道事業経営戦略の策定

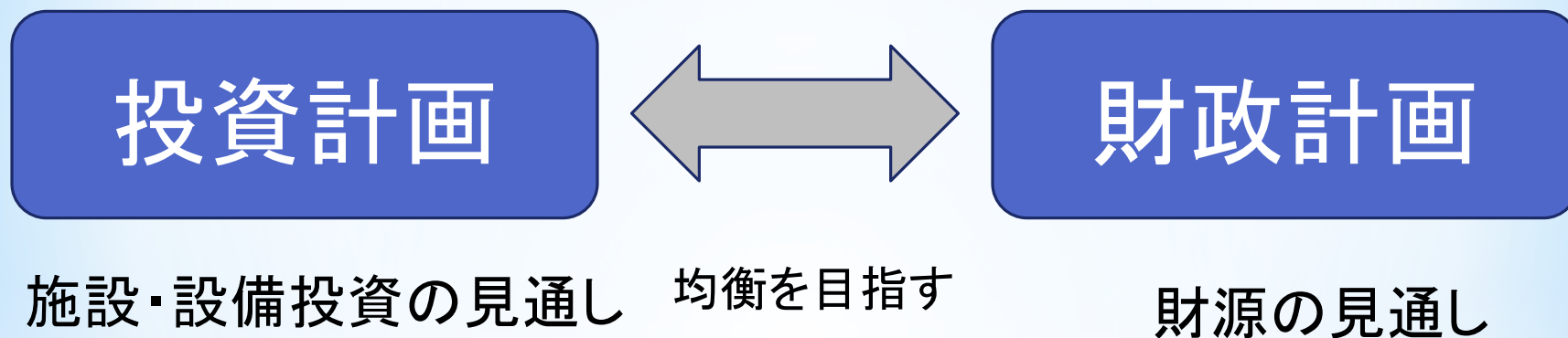
経営戦略の概要

計画期間：2018年度から2029年度までの12年間

4年毎に検証



投資・財政計画：給水人口や水需要予測を踏まえて策定



**投資計画と財政計画が均衡しない場合、
解決に向けて取り組む**

投資・財政計画の概要

財政計画は、将来の給水人口及び水需要の予測を基に、給水収益(水道料金収入)を推計

投資・財政計画の構成

収益的収支

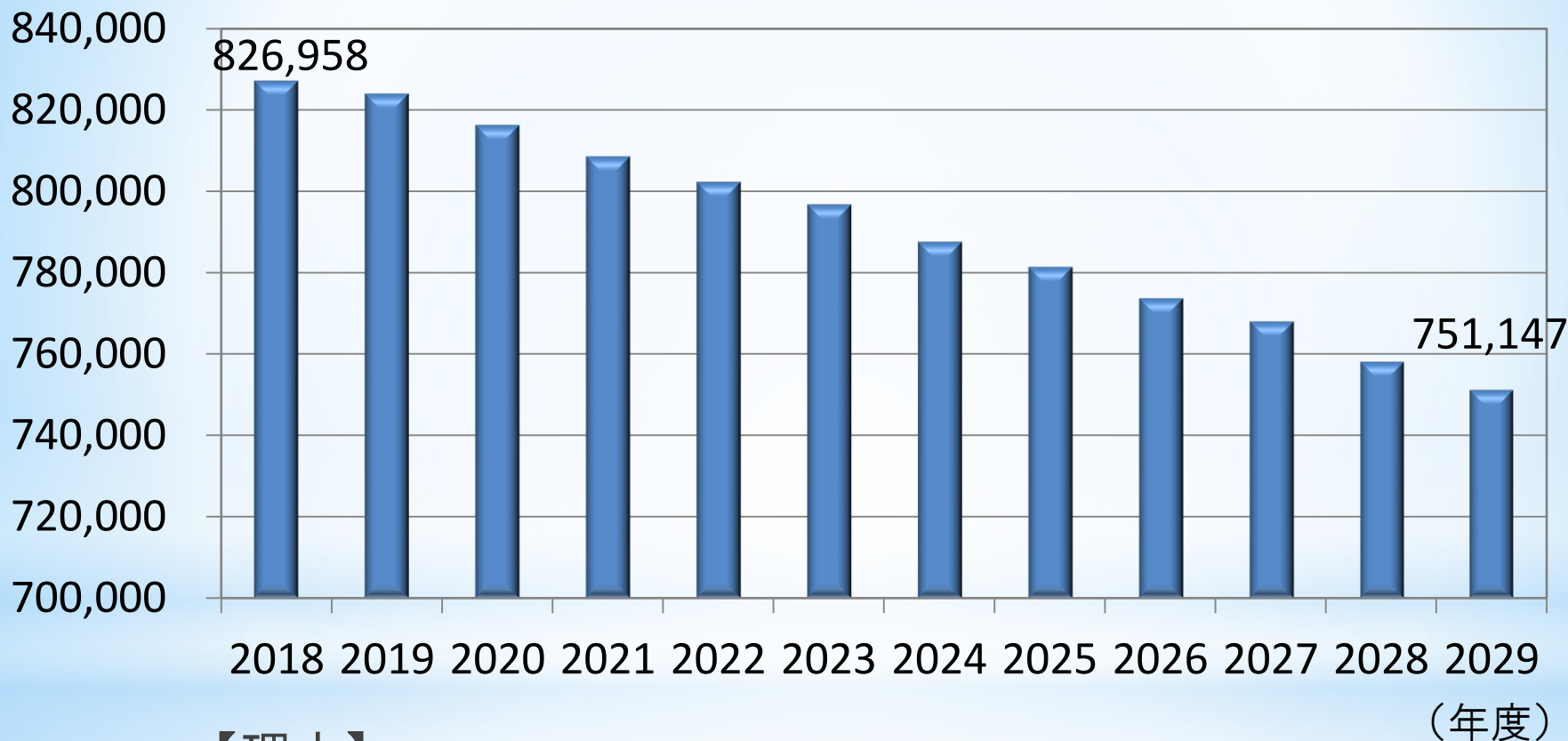
水道水を家庭にお届けするためにかかる費用などの収支

資本的収支

浄水場や配水管の整備などを行うための収支

水道料金収入

(千円)

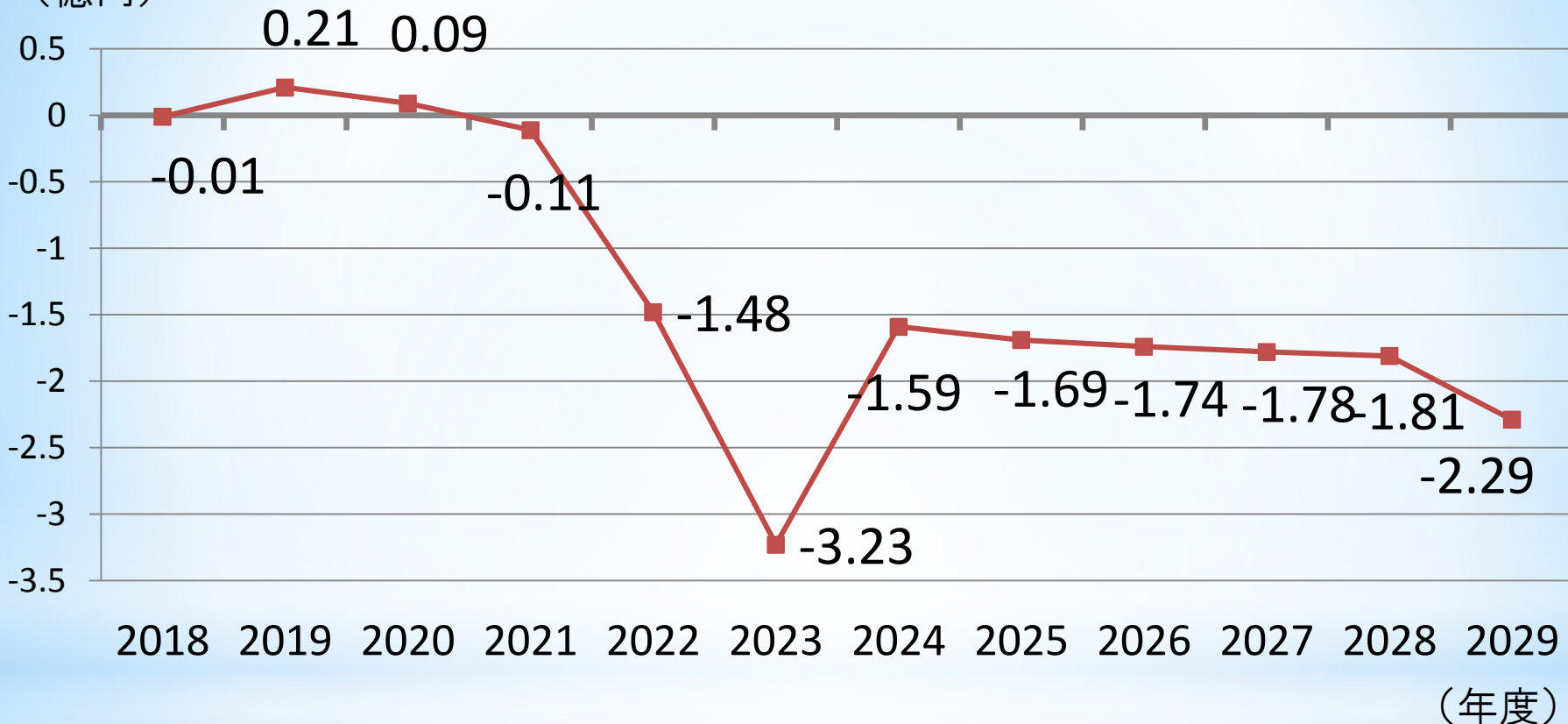


【理由】

- ・水道料金収入の減少に伴い、**営業収益は減少**

純損益の推移

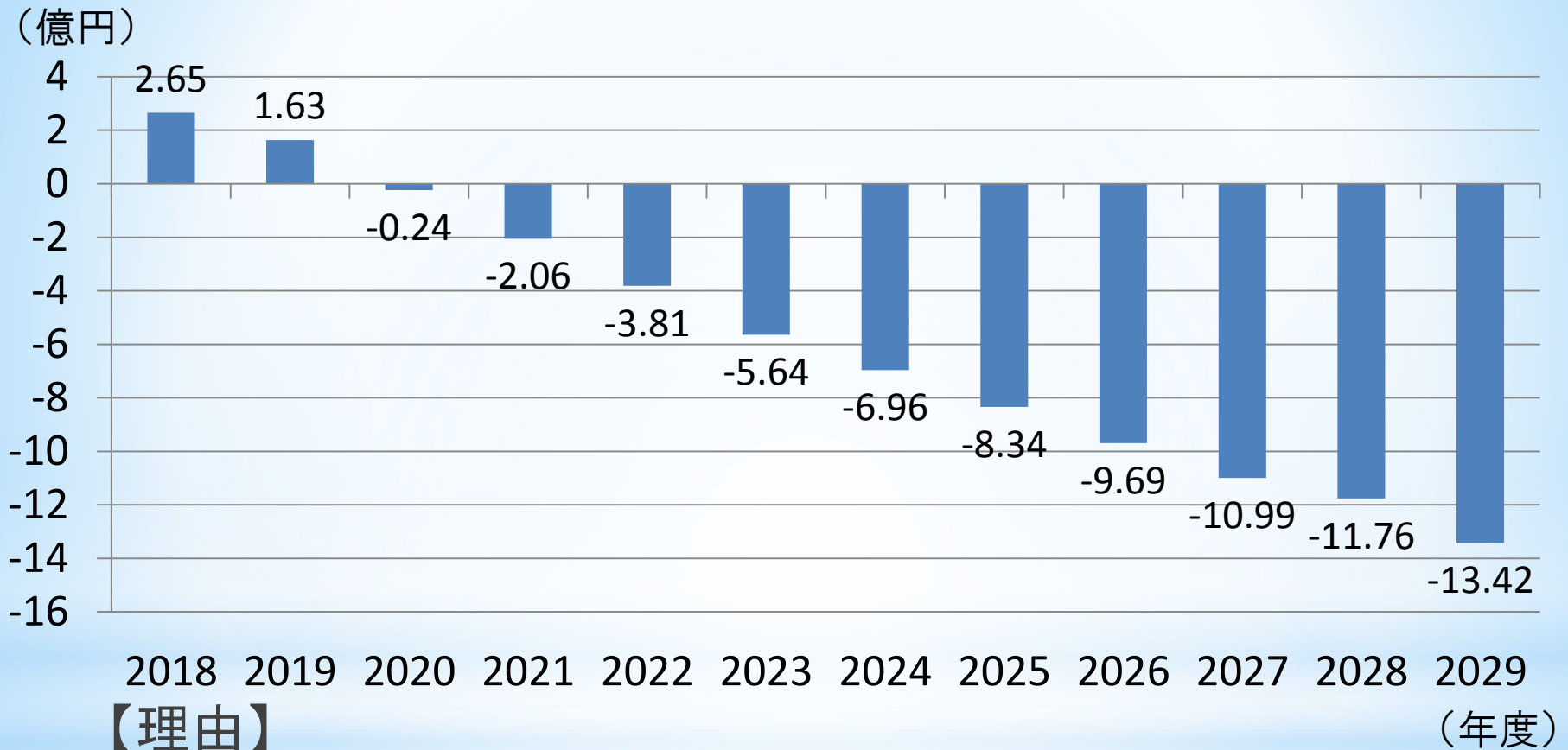
(億円)



【理由】

- ・施設整備に伴う減価償却費や支払利息の増加などにより、2018年度及び2021年度からは毎年純損失が生じる

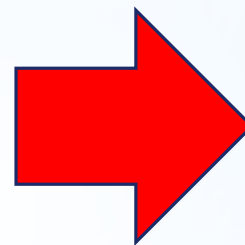
補てん財源残高



・補てん財源残高は、**2020年度には底をつき**、計画期間最終年度においての累積財源不足は、13億円を超える。

経営戦略で定めた今後の取組内容と 事後検証等に関する事項

- ・民間活力の検討
- ・広域化への取組の推進
- ・投資効果の検証
- ・水道料金の改定(審議内容)
- ・料金未納者対策



毎年度決算終了後
に検証

広報のぼりべつ等
により公表